

## chemSHERPA 賛同企業の募集を開始



経済産業省は3月1日、「製品含有化学物質情報の伝達円滑化に向けた報告」と題した文書にて、サプライチェーンにおける、新たな製品含有化学物質情報伝達スキーム「chemSHERPA」に賛同する企業の募集を開始しました。

chemSHERPA は、日本標準だけでなく国際標準(デジュール・スタンダード)となることを目指し、IEC、IPC 等の国際的な枠組と連携し、事実上の標準(デファクト・スタンダード)化に向け、国際機関、他国政府への紹介等も行っています。

現時点において、chemSHERPA の開発に直接協力した企業等のうち、既に賛同している58の企業等の名前が公表されており、chemSHERPA の普及が、情報の提供側・受領側双方の負担軽減につながると述べています。

また、本年4月にアーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)が chemSHERPA の運営組織となり、平成30年3月末までの2年間を移行期間として、順次 chemSHERPA の利用を進めていく考えです。

なお、chemSHERPA を広く使っていただくため、その利用(データ作成支援ツールの提供)は無償とする方針となっております。

当社では、有害金属分析等において実績があります。お気軽にお問い合わせください。

資料 平成28年3月1日付 経済産業省発表資料

分析技術箇所 竹下尚長

